

New !

検定情報サマリー(検定終了通知書) を活用しよう!

平成22年12月
(社)家畜改良事業団

1 はじめに(名称の変更について)

本帳票は「検定終了通知書」の名で長年親しまれてきた成績表のひとつですが、この度、『検定情報サマリー』と新たな名称に変更しました。

本帳票の利用法は、適切な飼料給与の確認など飼養管理面を含む多岐にわたるものですが、その利用法のひとつに「遺伝的な改良」があります。乳用牛遺伝評価において、遺伝能力曲線が公表され泌乳持続性という新しい改良目標が設けられました。そこで、雌牛ごとの遺伝改良曲線を本帳票に掲載することとしました。乾乳あるいは次産分娩により乳期が終了した時点で、本帳票は発行しています(旧称の由来でもあります)。その意味は、次産分娩の時期に、本帳票が検定農家に到着し、次の人工授精の種雄牛選択のための材料とするところにあります。とりわけ、今回の雌牛の遺伝能力曲線は、本帳票にしか掲載されず、位置づけが高いものとなりました。そこで名称を検定情報サマリーと改名し内容もより充実したものとしました。人工授精の種雄牛選択の材料としてご利用下さい。

2 主な変更点(追加情報)

(1) 乳用牛遺伝評価関連

遺伝能力曲線グラフ、泌乳持続性、総合指数、疾病繁殖成分などの表示。

詳細は別途「改良情報の使い方」をご覧ください。

(http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kairyu_2209.pdf)

(2) 検定成績関連

①生涯成績 乾乳年月日表示

②繁殖成績 流産表示

③検定日の成績

MUN、P/F比、疾病の表示

④今産の泌乳曲線グラフ

最高乳量、最高乳量到達日数、分娩後160日目乳量、泌乳持続性の表示

3 使い方のポイント

(1) 改良情報

検定情報サマリー発行時の最新遺伝評価値が表示されます。とりわけ、父牛と母牛の遺伝情報も表示されていますので、母牛と比較して、遺伝的に改良が進んでいるかどうか見ることができます。娘に期待できる推定育種価は(父 + 母) ÷ 2 = 娘 という計算を行います。実際の育種価では、推定育種価以上に改良が進んでいることもあります。

(2) 生涯成績

実乳量での成績になります。これも母牛の実乳量と比較することで、改良や飼養管理の改善効果を確認できます。あわせて、母系としての、母娘に共通する特徴を把握しましょう。

(3) 繁殖成績

生涯の繁殖成績ですから、まず本牛の繁殖の特徴を掴みます。流産の多い牛なのか?なかなか種がつかない牛なのか?その特徴を掴んで、次産のための人工授精に活かすようにします。

また、後継牛の生産状況などもあわせて確認します。もし、すでに後継牛が生産されているのであれば、その後継牛の検定成績も確認しておくとい良いでしょう。

(4) 検定日記録とそのグラフ

今産乳期の検定日記録とグラフが表示されています。例えば、乳量と濃厚飼料給与量のそれぞれのグラフを対比させてみて、乳量に応じた適切な濃厚飼料が給与されているかなどをチェックします。適切な濃厚飼料給与が飼養管理の基本であり、そのバランスが崩れると、繁殖成績まで影響することが知られています。その他、P/F比、MUNなどチェックすべきことは無数にあります。

(5) 父牛、母牛

(1)(2)で紹介した利用方法に加えて、次の交配に際して、近親交配をさけるための情報として活用します。

(6) 今産の泌乳曲線グラフ

一般に最高乳量到達日数(DAY)が早い場合、泌乳持続性が劣ります。実乳量での泌乳持続性は、次の式で求められます。

泌乳持続性 = 240日乳量 - 60日乳量 + 100

(7) 遺伝能力曲線

遺伝的な泌乳能力の曲線です。ベース曲線と対比させて見ます。一般にベース曲線より上位に描かれている場合は、遺伝的に乳量が高いことを示します。また、泌乳ピーク以降の傾きがベース曲線より緩やかなものほど、遺伝的な泌乳持続性が優れています。